

# Rotary Club of SUGITO



## 杉戸ロータリークラブ週報

2008～2009年度 RI のテーマ

Make Dreams Real

会長 田中昌夫 幹事 大作 茂

### 第1947回例会（2008年10月14日）

点鐘

田中会長

ロータリーソング

我等の生業

お客様

パストガバナー

藤田亘弘様

会長挨拶

田中会長



皆さんこんにちは。藤田パストようこそ！  
まず最初に、先日行われました  
会長・幹事会の

報告を致します。

奉仕プロジェクト部門としてペットボトルの回収を行っているのでクラブを超えての協力。

財団部門より下記の通り要請事項

- ・ロータリーカード加入のお願い
- ・ポリオ撲滅チャリティコンサート

平成21年1月30日PM6:00～

さいたま芸術劇場

次にいつもの通り、国際ロータリーニュースよりいくつか紹介をします。

「奉仕と親睦を兼ねる展示会」ということで、西アフリカ・プロジェクト展示会は今年で5年目を迎え、第9100地区（西アフリカ）の50のロータリークラブが参加します。この展示会は、西アフリカの貧困地域における水対策、飢餓緩和、ポリオ撲滅に取り組むプロジェクトを、援

助国（多くは北アメリカやヨーロッパ）の共同提唱クラブに紹介するものです。ロータリー財団のプログラムに焦点を当てた情報セミナーが開かれる他、アビジャン周辺地域で2日間にわたるポリオ予防接種プログラムも行われます。海外から約75の共同提唱者が出席予定のこの展示会では、200件のプロジェクトが提案されることになっています。

『韓国で開かれた「子供の死亡率低下」会長主催会議に1万人が集まる』という記事を紹介します。去る9月2日、1万人近く韓国のロータリアンが集まり、子供の死亡率低下への取り組みを約束しました。「私たちが力を合わせれば、死と隣り合わせに生きる一人の子供の命を助けることができます」と、李会長は韓国の一山にある韓国国際展示場の聴衆に語りかけました。集まったロータリアンを代表して、李会長は5億ウォン（431,890米ドル）の小切手を、韓国国際医療財団と韓国共同募金に贈呈しました。この2つの団体は、子供の死亡率低下に取り組む韓国の団体で、アフリカの母子に医療を提供する小さな病院を建設することを目指して、授与された資金と同額の資金を提供する予定です。

### 幹事報告

渡辺良一会員

インターアクト合同奉仕活動についてがきております。

日時 2008年11月3日（月）9:00～

場所 大宮駅・さいたま新都心・浦和駅

杉戸町国際交流協会よりバッセルトン訪問

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場：埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

団来町のご案内がきております。

10月29日(水)～11月10日(月)13日間  
再送で生活習慣病講演会のご案内がきており  
ます。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

篠原委員長



先週皆さんにFAXがお送りしてあると思いますが、杉戸町の産業祭にてバザーを行い、

その売上金を杉戸町障害者団体に寄付をしたいと思っております。つきましては品物の提供をしていただきたく、21日の例会終了後にいただきに伺いますのでよろしくお願い致します。時間は3時過ぎから回収を始める予定です。

## 卓話

藤田亘弘様



### 《ロータリー倫理訓と私》

今月は職業奉仕月間ですので何か職業奉仕に関する卓話をとということで本日伺いました。ただ今の関口さんの紹介で「物静かで最もロータリアンらしいロータリアン」と言われましたがとんでもございません。「ダジャレが得意な落語家のようなガバナー」でございます。私の所属しております吉川ロータリークラブと杉戸さんは同じ時期に生まれたクラブですが、私のクラブは吉川イブニングと合併をいたしまして15名と16名で31名になりました。ところが、いつも例会に出ているのはせいぜい5～6人であとは知らないイブニングのメンバーなので、よそのクラブに行っているような感じがしております。その点、こちらのクラブには知っている人がたくさんおりますので安心してお話が出

来ます。

今年度のガバナー月信にはロータリーエッセイと職業倫理訓が載せてありますので、是非それを読んで頂きたいというPRの役目を私は仰せつかっております。職業倫理訓は11ヶ条から成っており、毎月紹介をしていくようです。

私は1971年にロータリーに入会しましたが、その時は自分の職業をやっていただけです。皆さんそれぞれ事業主の方ですから立派な職業に対する考えを持っていらっしゃると思います。それらの考えとロータリーの宣言や倫理訓を参考にするというのが建前ではないかと思っております。今から17年前の1991年、バブルがはじける前に私の事業は順調に発展して、福島県の小野町という所に3万坪の土地を買って、ある自動車部品の工場を建てるという計画がありました。その当時8900円だった土地が1年経ったら28000円になってしまいました。3億で買えるはずだったのが9億になってしまう訳です。そのうち91年9月にガバナーに指名されてしまいました。関口さんもお存知だと思いますが、2年間ぐらいは全く仕事が出来ないわけですから、9億のお金を投資して、これはあぶないと思いました。倫理訓第3条の中に「野心」という言葉がでできますが、まさに私は「野心」を抱いていたわけでした。そのままやっていたらバブルがはじけて大変なことになっていました。ですから私はガバナーをやったお陰で気づかせてもらえ、ロータリーに感謝をしているのが実情です。

私は2代目として父の会社に入ったのは、父が病気になったからで、それまで私はサラリーマンをやっておりました。そんな私に父が子供だった頃から言っていたことは「絶対に他人に迷惑をかけてはいけない」ということと「社会に対する貢献はお前の人生に対する家賃なんだよ」ということです。ロータリーには家賃を払うチャンスがいくらでもあります。地域社会や世界に対する家賃を払う場を提供してくれる訳ですから・・・そして、それは私が選択をすればいいのです。

もう一つ父が言っていたのは「本業を絶対忘れてはいかん」ということです。私の会社は自

動車の開発の部品を作っているのですが、バブルの時代には「土地を買う」「ゴルフ場に投資する」「株を買う」と儲かるからとさんざん言われました。もちろん銀行がお金を貸してくれるわけですが、しかし、父は「本業以外で金もうけをしたら汗をかかないで儲ける。それは本業を忘れることになってしまう」と言っておりました。父は全く金もうけが下手くそでしたが、私はそんな父を尊敬しております。また、父は「自宅を城にするな!」とも言っておりました。我々は職業人ですから自宅を立派にしてしまったら、会社に行かなくなってしまうわけです。私は当時は江戸川区の平井に住んでおりましたが、住まいは粗末なものでした。今は大宮に住んでおりますが・・・自宅が粗末だということはお金が無いわけですね。そうしたことからお金がないことを幸せだと感じております。

また父が言っていたことに「縁を大切にしてください」ということもあります。父は「ご縁」と言っておりましたね。私は毎年賀状を800枚くらい書くのですが、全部肉書きです。私は写真が趣味ですので、暑中見舞いも300枚くらい書きますが、これもすべて肉書きです。パソコンで作ったものは読んでもらえないんですね。これも「ご縁」を大切にしたいと思うから出来ることです。

最後に今日の本題であります職業奉仕についてですが、普通、職業というと英語ではoccupation, business と出てきますがロータリーでいう職業とは vocation いわゆる「天職」ということなのです。「天から、神から与えられた職業」ということです。ロータリーの友10月号のRI会長メッセージで李会長が言っている言葉「韓国が戦後数十年で目覚ましい成長を遂げたのは、誠実・名誉・勤勉・公正といったロータリーの価値観が韓国人には生まれながらにして備わっているということです」そして、倫理的な行動を重んじることが経済を豊かにした理由です。これと同様な経験を私もしております。1988年、今から20年前にGSEでベルギーに行った時、ベルギー商工会議所会頭会議で日本の経済について何か話をしなさいと言われて

ました。話が終って質問の時に「日本は第二次世界大戦で焼け野原になってしまった。それなのに見事に復興したのはどうしてなのか?」と聞かれました。私もしばらく考えましたが「日本人は勤勉な国民です。9年間の義務教育という制度もあり、国民は十分な教育を受けているから」というような答えをしたことを思い出し、まさに李会長の考えと同じだと思いました。そして、ロータリーで学んだことは「陰徳と寛容」です。陰徳とは「人に知れぬように施す恩徳、陰徳を積んだ人には、よい報いが目に見えて現れる」この文章を変えてみるとロータリーの第2テーマに似ていると思いませんか?「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」です。そしてとてもいい文を見つけましたので紹介します。「尊いのは 頭でなく 手でなく 足の裏である。

一生ひとに知られず一生活たない処と接し  
黙々としてその努めを果たしてゆく

足の裏の教えるもの

頭から 光が出る まだまだだめ

顔から 光が出る まだまだあかん

足の裏から 光が出る そのような方こそ  
ほんとうに 偉いのである。」

坂村 真民

そして最後に私の大好きなポール・ハリス“ロータリーの道”より次の言葉を紹介して終わりにします。

「ロータリーがより寛容でより他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり助け合うようにしてくれるなら、そして人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーすべてである。それ以上ロータリーに何を求めることがあるか」

出席報告

仁部会員

出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
10/14	30	15	15	5	65%

スマイル報告

仁部会員

藤田バスターガバナー卓話ありがとうございます。以下同文 会員全員

本日投入額	18,000円
累計額	294,000円